

■13 保健管理等に関する事項

保健管理センターは、学生生活を総合的に支援することを目的として発足し、心身の健康の保持・増進を図るため、深草学舎、瀬田学舎、大宮学舎において保健管理業務をおこなっている。また、保健管理センターには、診療所とこころの相談室とを開設し、それぞれが連携して学生支援をおこなっている。

2009年4月からは大学敷地内全面禁煙化を受け「受動喫煙の防止」、「すべての関係者の健康保持・増進」を目的として禁煙教育や卒煙支援に取り組んでいる。特に世界禁煙デーにあわせて、NPO京都禁煙推進研究会に協力を仰ぎ、学友会とともに禁煙キャンペーンを開催した。その他、麻しん(はしか)などの感染症対策、救命講習会の開催、診療の充実、健康診断、診療ならびに健康相談と幅広く健康管理に取り組んでいる。

1 保健管理について

●こころの相談室の利用環境整備

こころに悩みを抱える学生がより気軽に相談できることを目的として、こころの相談窓口予約とともに、Webによる相談予約ができるような仕組みを構築した。

●学内全面禁煙の活動推進

大学敷地内全面禁煙(卒煙支援ブースは除く)の取り組みを受けて、受動喫煙防止、すべての関係者の健康保持・増進を目的とした取り組みを推進した。学友会組織と協力し、禁煙キャンペーンを積極的に行い、相談によるニコレットパッチの配付などを行うとともに、履修説明会後に喫煙による健康被害に関するDVDを上映し啓蒙活動を実施した。

●麻しんへの対応

2007年度に関東及び関西の大学生を中心に流行した麻しんへの対応として、2008年度に文部科学省から各大学へ麻しん等予防接種状況の把握に関して通達があった。これに関して2010年度入学予定者に対して予防接種の勧奨および入学生に接種状況の調査を実施し、学生への注意喚起を積極的におこなった。

●新型インフルエンザへの対応

2009年に爆発的な感染拡大が起こった新型インフルエンザに対応するため、医師会等から情報を収集し、学生や教職員、関係者への注意喚起や対応方法について、ホームページ、ポータルサイトを通じて情報提供をおこなった。

●熱中症対策セミナーの開催

夏期休業中におけるサークル活動中の事故を未然に防ぐことを目的として、製薬会社と協働して、サークル代表者やマネージャーを対象とした熱中症対策の講演会を開催した。

●普通救命講習会の開催

学生主催行事の実行委員を対象に、行事開催時における緊急時の対応方法を習得することを目的として講習会を開催した。また、AEDをキャンパスのどこからでも3分以内に使用できるようにすべての建物に設置し、全国でもトップクラスの63台を設置した。

2 診療について

●こころの病の早期発見、治療導入によるメンタルヘルスケアの充実

精神科医師による精神科相談・診療に加えて、学生定期健康診断に際し、問診による心の健康関連項目(既往歴)を実施し、学生支援に結びつける仕組みを導入した。また、支援の必要な学生に対して、元気が出る健康学習会を開催し円滑な学生生活が送れるように支援をおこなった。

●副センター長の任用

2010年4月より、副センター長(内科医)を任用し、学生、教職員の健康管理を充実させた。具体的には、診療をはじめ、健康診断呼び出し基準、治療薬の検討をおこなうとともに、健康談話会などの講演会を開催し、健康意識の向上を図った。

●診療体制の充実

学生、教職員の健康の維持増進のために学医を任用し、診療体制を構築した。また、学医の任用については、大学病院及び近隣医療機関に依頼し、受診しやすい環境を整備した。